

都心にふさわしい図書館の機能検討

■ 市立図書館の現況及び都心にふさわしい図書館設置の背景

□ 市立図書館の整備の現況

- 中央図書館、地区図書館、区民・地区センター図書室等合わせて40を超える図書施設の設置
市内全域に図書サービス網を整備済み
- 電算・物流システムによる各図書施設のネットワーク化 最寄りの図書施設に資料の取り寄せが可能

一般的な図書施設の整備は完了

□ 都心にふさわしい図書館を設置する市民交流複合施設の考え方

【市民交流複合施設基本計画（H20.10）】

《基本的な考え方》○様々な市民が集い、交流し、札幌の魅力を国内外に積極的に発信していく場

《果たす役割》

- 札幌の文化芸術を支え、育てる
- 文化芸術とIT、観光、ビジネスを連携する

□ 第2次図書館ビジョンの目指す方向性

理念：市民の生活や創造的な活動を支える「知の拠点」となる図書館

サービスの質の向上

基本方針1 市民の生活や活動に役立つ図書館

- 後世の世代も札幌や地域の魅力や成り立ちを理解できるよう、また、調査研究や課題解決ができるよう資料を提供

基本方針2 本・人・文化を結ぶ図書館

- 読書に対する関心や学習意欲を高め、市民が新たな活動に取り組むきっかけづくりとして、講座、展示等を充実

基本方針3 広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館

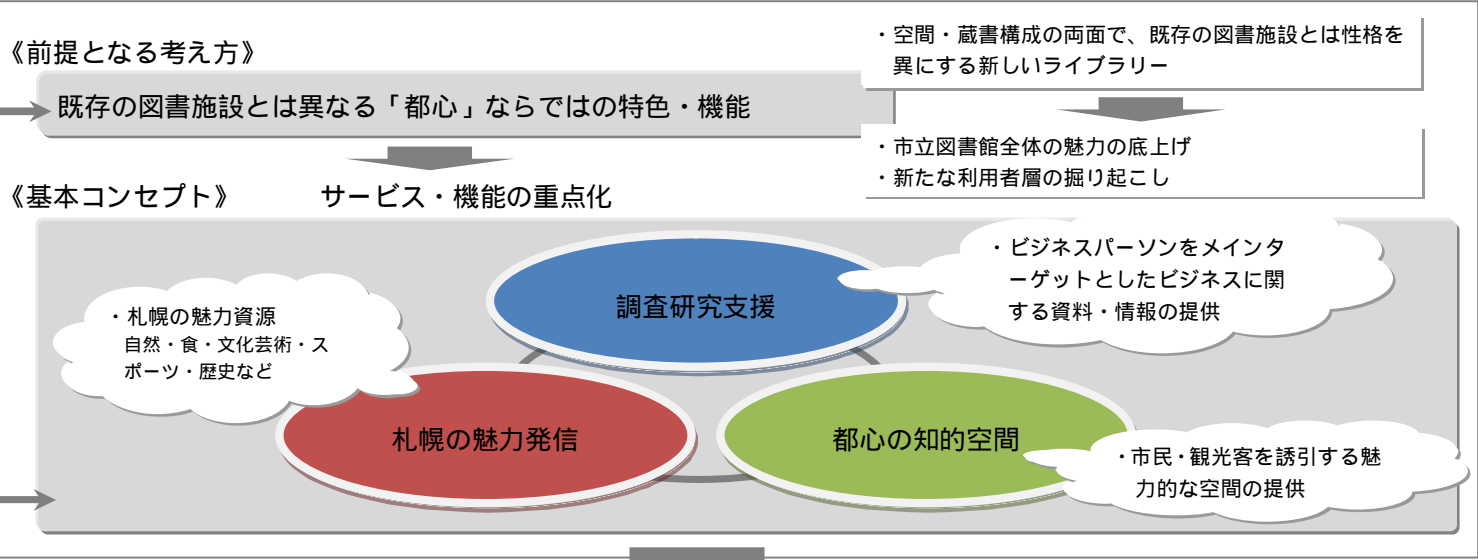
- 「市民の生活や活動に役立つ図書館」「本・人・文化を結ぶ図書館」の機能や魅力を広く積極的に情報発信

《施策の方向性(主なもの)》
歴史や文化に関する資料を含む幅広い分野の資料収集
レファレンス機能の向上
電子サービスの充実
新たな文化との出会いの場の提供
積極的な情報発信
市民・各種団体等との協働

□ 札幌都心の特徴と来訪者

- ビジネスパーソンや観光客が多数集う
- 交通の便がよく、各区から多数の市民が気軽に集える
- 大規模な書店が複数立地している
- 観光案内所はあるが、文化や歴史等、札幌の魅力を一望できる施設がない

■ 基本コンセプト



■ 空間構成

□ 「静」の空間（調査研究を支援する空間）

《集中して調査研究ができる環境》

- キャレル席、ミーティング、プレゼンテーションルーム（予約制・有料化の可能性検討）
- 充実したDB・PC環境（無線LAN環境）
- 熟練した図書館員による相談対応、DB利用方法等の支援

《蔵書：ビジネスパーソンをメインターゲット》

- 専門書・統計資料・ビジネス雑誌、業界紙
- その他幅広くビジネスに関係する資料
- 市内企業情報（社史、有価証券報告書、CSR報告書等）



くまもと森都心プラザ図書館

千代田区立図書館

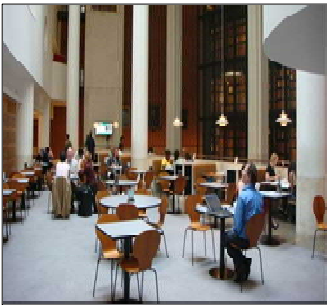
□ 「動」の空間（札幌の魅力を発信する空間・知的創造と憩の空間）

《知的創造と憩の読書環境》

- 席配置可変、読書、打ち合わせ、グループ研究やコミュニケーションの場（無線LAN環境）
- 要望に応じて図書館員が資料面でサポート
- カフェとの連続性により飲食も可能

《蔵書：他の図書施設との差別化》

- 札幌の魅力発信：札幌の「歴史」「食」「自然」「スポーツ」を重点に「さっぽろ」をテーマとした書籍の提供
- 芸術・文化分野 芸術文化資料、アーカイブの提供
- セレクトライブラリー 一定期間ごとのテーマ展示（年間を通じて図書館に通う楽しみの演出）
（例）大人も楽しめる絵本特集、理系嫌いに贈る入門書・・・



British Library(ロンドン)

SPB(渋谷)